



## 巻頭言 謹賀新年 塾長 釜中 明

新年おめでとうございます。本年は辰年ですから昇竜の如く上昇気流に乗り大いに飛翔したいものです。皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

### 震災被災地の今 「仮設住宅は厳しい冬」

あの日から10ヶ月が過ぎましたが、被災地の皆様はどのような正月を迎えられたのでしょうか。東北の冬は雪も深く厳寒にさらされます。

国土交通省によれば、要請された仮設住宅は約6万戸だったそうです。どうやら数的には充足できたようですが問題は質です。私は、6月にファミリーホーム開設のため訪問した宮城県東松島市で、建設中の大規模仮設住宅を見ました。軽量鉄骨工法のプレハブのバラックです。7月下旬に再訪した時には一部入居されていました。住み心地は如何ですかと尋ねてみました。「避難所だった体育館に比べればプライバシーが確保できたのでありがたいです。しかし、とても暑く睡眠時間が短くて体調が優れません。両隣の声や音が響いて神経質になっています」と、重い口を開いて下さいました。さらに、高齢者が多いだけに冬期が心配です。

長岡技術科学大学の木村悟隆准教授が中越大地震(04年)の時に建てられた仮設住宅の寒冷地における問題点を「仮設住宅の居住性」として報告書にまとめています。大きな問題点は「夏の暑さと冬の寒さと結露」だと指摘しています。鉄骨の一面は外に反対面は室内に露出するので、鉄骨が熱橋(ヒートブリッジ)となります。そのため夏は外気を伝えて高温になり、冬は寒いので暖房で暖めた室内が結露します。滴り落ちるほどの結露でカビが大発生し健康被害が心配されたといわれています。当にご指摘とおりで、カビは万病の元ですから要注意です。新聞報道では「仮設住宅の柱が結露し床に水がたまり、寝る時は布団の下に新聞紙を敷かなければならない。仮設だから仕方がないとあきらめ顔で答えられた」といいます。多くを製造したD社やS社等の大手プレハブメーカーは、この様に質的な改善や改良は全く施していないのです。

### コンテナの仮設住宅にレッドカード

心配していた事が現実になりました。宮城県女川町に海上コンテナを積み上げて2~3階建ての仮設住宅が189戸出現しました。業者の特徴や長所の説明によれば「コンテナは耐震性が高い上、断熱性、遮音性の高い住宅となる」と書いています。果たして真実でしょうか。余りにも非常識なので取り上げました。まずコンテナの構造は、4本の鉄骨の柱に波型の分厚い鉄板で5面を囲い、床面だけが木質です。

私は25年間、世界一コンテナを製造していたT社に床板を納品していたので良く知っています。鉄は木の300倍も熱伝導率が高いので夏は熱く冬は寒いのです。さらに音の伝播率も大きいので音が響きます。住まいとしては、厳しい条件が揃っているため不適格です。皆様も常識としてご理解頂けるとおもいます。

普通の住宅でクレームのワースト3は断熱・結露・音です。仮設住宅なら粗悪品でも当たり前だということでしょうか。多くを失い過酷な現実と戦っている被災者に申し訳ないことです。今後の仮設住宅の改善に向けて、現状を誰も指摘しないので警鐘を鳴らします。

### 吉報 木造戸建て復興住宅が出現

救いは、奇跡の1本松で有名になった岩手県陸前高田市のオートキャンプ場などに木造仮設住宅93戸が建築されたことです。地元の気仙杉を使って、木の香りと温もりのある住み心地のいい家です。木は吸湿、調湿性に優れており断熱性が高いので結露しません。住田町と地域の森林組合や工務店などの第三セクターで実現したそうです。木村准教授によれば「柱や外壁は木、内装も木や石膏ボードで断熱性に優れていて結露しませんでした」中には「地震前に住んでいた家より温かい」という居住者もいるそうです。



[ 木造戸建て仮設住宅 ]

### 「悪貨が良貨を駆逐する」

グレシャムの法則ですが、当にこの国の住宅は悪貨が良品を駆逐してしまいました。戦後の高度成長時代からこの国の住宅は、鉄・コンクリート・石油化学建材で出来た物が殆どです。そのため、短命住宅や欠陥住宅、更にシックハウスを造り、疾病や大きなストレスを生み訴訟問題にまで発展して社会問題になっています。

(次ページへ続く)

私がこの家塾を受講させていただくことになったのは、会社の先輩から、人生で一番大きな買い物である家を購入する前に、とても有益な家作りの講座があるので、受けてみてはどうかとの誘いがきっかけでした。その先輩も、以前家塾の講座を受講し、たくさんの目から鱗の経験をされた持ち主です。私は、家を買ってしまってから、こんな筈ではなかったと後悔しない為に、事前にできるだけ家についての知識を得ておく必要があると思ひ、受講させて頂くことにしました。

月に一度の家塾は、釜中塾長の「家、笑う」の掛け声で始まりました。

1 回 5 時間の講座なので、少しハードではありましたが、講座内容は盛りだくさんで、家を購入する際に知っておかなければならないことを、いろいろ教えていただくことができました。また、普段の講座だけではなく、希望者だけの見学会や、特別講座などもあり、夫婦で参加させていただいた時は、楽しい思い出になりました。

10 回の講座で私が行けない時は妻が参加して二人で皆出席しました。全ての講座を修了して、家の購入では、購入者自身がしっかりと勉強し知識を得ておかないと、相手に任せているだけでは、どんな被害に遭うかもしれないのだと感じました。そして、家作りで重要な 5 つのポイントである、(1. 構造を何にするか 2. 工法を何にするか 3. 素材は何を使うか 4. 断熱はどうするか 5. どこに(誰に)頼むか)を決める際に、家塾で学んだことが大いに参考になりそうです。

1 年弱と言う短い間でしたが、塾長以下、講師陣の方々に、この場をお借りして心から感謝を申し上げたいと思います。



[最終講、修了式後の集合写真]

### (巻頭言続き)

静岡大学農学部が木製、コンクリート製、金属製の 3 つの飼育箱を使って、子マウスの飼育実験を行いました。いい家塾の講座で「生命を育む」というこの記録映画を教材として鑑賞します。その結果は、生後 23 日後の子マウスの生存率は「木が 85.1%、金属が 41.0%、コンクリートが僅か 6.9%」と大きな驚きの差が出ました。同じく体重増加率も木が一番でした。毎回塾生は大変大きな衝撃を受けるのです。体が冷えにくく、汗や湿気を吸収しやすい木は、生き物が暮らす環境としては最適なのが証明してくれます。

### 「いい家塾」の使命

価格も安く人と同じ生き物の木は人体に優しく美しいです。

大阪平野を一望する生駒山の麓に平屋建ての家が完成しました。この辺りはまだまだ自然がいっぱいで、これからご夫婦二人でのんびりとお住まいになるには落ち着いた環境のいい場所です。

1 様ご夫婦は家を建てるにあたり、色々な本を 30 冊くらい読みあさったと言われていました。その中で、いい家塾の塾長が書かれた「後悔しない! いい家づくりの教科書」と出会い、納得され、塾長に会いに来られました。これが終の棲家完成への第一歩でした。

「夫婦だけで住むので、そんなに大きな家はいりません。ちょっと贅沢だけど平屋にしてください。息子一家が帰ってきた時の為に、一部屋だけ予備があれば・・・」と言うところから始まりました。

土地は少し急な坂の途中にあり、建売住宅の二区画を一つにした敷地で、設計段階では苦労されたそうです。最終的に間取りは 1LDK + ロフトで決まりました。

家の中心では高知県梶原町で伐採祈願をした 210 角の大黒柱が存在感を放ち、この家を支えています。その他の木も全て梶原町の土佐杉です。

断熱材はもちろんセルローズファイバー(いい家づくりの教科書に書かれています。)で、外壁は漆喰、家全体が呼吸出来る自然素材ばかりを使っています。おしゃれな外観で家の中は木の香りが満ちあふれた家が完成しました。

ご主人がピアノを弾く姿や、ご夫婦が無垢のフローリングの上でごろんと横になり、読書をされている姿が思い浮かべられます。いつまでもご健康で過ごされることを願うばかりです。



[引き渡し式]

国土の約 70% が森林のこの国で、なぜ再生可能な自然素材の木材を活用しないのでしょうか。山村から限界集落を無くし国土保全のためにも、住宅と仮設住宅も国産材の使用を行政に強く要望します。

後悔しない家造り講座 15 期生を募集中です。500 名の卒業生から「常識の非常識を知りました」「眼から鱗でした」など喜びの声を頂いてきました。

最適な知識と最新の情報を提供して「良品と悪品」を峻別できる賢明な消費者の輩出が当塾の目的です。あなたも 2 月から始まる 15 期の講座に参加しませんか。

川柳「は～るよこい♪ 待ちくたびれて遅い春」 遊楽

今年の「いい家の日」イベントは、初めて神戸で公開講座を行いました。神戸を中心に活動するサポーターとしては、待ちに待った神戸での講座です。「いい家の日」の11月8日を挟む11月5日(土)と11月13日(日)の二日、それぞれの日に工夫をした、神戸らしさも加味した内容のミニ講座を計画しました。

会場は、神戸三宮からほど近い、旧居留地の一角にある「日本真珠会館」。来年還暦を迎えるという神戸の市民にも知られざる名建築です。設計者は兵庫県営繕課の職員でもあった、光安義光氏。現兵庫県庁舎や近大美術館(現、原田の森美術館)等多数の設計作品を残している実力派の建築士です。今回は特にそのご子息で建築家でもある光安義博氏の案内で日本真珠会館の建築のウォッチングからスタートです。エントランスの内側の壁(ドア)の角度がついている事で自然にエレベーターホールの方へ導かれる動線になっている事や、登りやすい寸法と比例の階段、真珠の鑑定にも使ったために4階大ホール(今回の講座の会場)は当時としてはとても大きなガラス窓など「身内」ならではの解説で、住まいづくりにもつながるヒントを交えてのお話は魅力がありました。「教室」が「語り部」になる家塾のあり様もいいなと思いました。



〔光安さんの建物案内〕

各日のミニ講座では、釜中塾長の講義で家塾の使命や5つの決め手の話。そして5日は前出英子氏の「収納とリフォーム」、13日は桶村久美子氏の「住まいと色彩」という各記念講演での締めくり。私の案内で13日には「オプションツアー」として旧居留地のまち歩き。明治から昭和初期に建てられた神戸の名建築めぐりを行いました。堅苦しく言わず、「これから見る建物の中に古代ギリシャの神殿を見つけに行きましょう!」と呼びかけました。両日併せて50名の参加があり、充実したイベントになりました。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。これを機に又、神戸でのイベントも魅力ある企画を考えて実施したいと思います。



〔講座の様子〕

### 祝着工

2011年の始めから設計にかかっていたI邸ですが、少し時間がかかりましたが着工の運びとなりました。施工はサポーターの山本博工務店です。古家を解体してから地盤調査を行ったところ、一部に悪い地盤が確認され予定していなかった柱状地盤改良を急遽行うことになりましたが、12月14日現在、基礎工事を進めているところで、新年早々に棟上げとなります。

### プランづくり

I邸の敷地は比較的余裕があることから、建物の配置をどうするか、また必要な部屋とその配置など、自由性が高く、その分いろいろとプランを検討することになりました。せつかくの家づくりですから、後でもっと良いプランがあったのでは?と思い残さないように、この段階でじっくりと納得ができるまで検討することが大切です。

一旦基本設計が決まると構造設計なども平行して進んでゆくために、なかなか変更が難しくなりますから、この段階でのやり直しは何度でもやって納得の行くものをつくりましようとお話していました。

### 打ち合わせ

設計の打ち合わせは、主にさんのご自宅といい家塾の事務局で行いました。ユニットバスやキッチンなどの設備をショールームで見させていただくために市内にでてきていただくのと合わせて打ち合わせを行ったりしましたが、多いときには毎週打ち合わせを行っていただきました。

いい家塾の事務局での打ち合わせの際には、就学前の姉妹が一緒に来て、事務局の釜中悠至さんに遊んでもらったり、近くの公園に連れていってもらったりと、すっかりお世話になってしまいました。ありがとうございました。

### プランの特徴

玄関に家族用の収納があったり、居間に接して2帖大の収納があるなど、収納の工夫がたくさんある家になっています。台所からの動線を考えた洗面所など、毎日の生活を重視したプランになりました。2階にはこどもの部屋や寝室の他にファミリールームがあり、こども部屋と一体で使うことも可能です。こども部屋は天井を高くしてプランクを取り付けられる梁を設置しました。

4月の竣工まで、現場をしっかりと監理してゆきたいと考えています。



〔地鎮祭のあとご家族と〕

## 「知らないと損をする」「知らなかったから後悔する」

家は人生で一番高価な買い物。そんな大事な家を買ってから「こんなはずではなかった・・・」と後悔しないために、まずは勉強しませんか？ 500名の卒業生から「常識の非常識を知りました」「目からうろこです」と好評の家造りの勉強会。最適な知識と、最新の情報を提供し、良品と悪品を峻別できる賢明な消費者の輩出をいたします。

自然素材を使った健康住宅。大地震にも耐える丈夫な家。まち並みに調和した家など、「こんな家がほしい！」と理想の家を明確に答えられるようになるための勉強会です。一級建築士や大工さんを始め現場で活躍する優秀な職人や各界の有識者が講師となり、どなたでも分かりやすいプログラムを準備しています。



### 講座は

「健康を重視した家造り」「環境に配慮した家造り」「丈夫で長持ちする家造り」をメインテーマに講義を構成します。

家造りで重要な5つのポイント

①構造は何にするか ②工法は何にするか ③素材は何を使うか ④断熱はどうするか ⑤どこ(誰)に頼むかを自分で決定できるようになってもらいます。

### 15期生 講座のプログラム

No.	月日	概 要
1講	2/19	・ガイダンス・土地の重要性・不動産講座・家造り基礎知識・いい家塾の誕生秘話
2講	3/25	・3つの構造・いい家塾の家造り事例紹介・耐震強度講座・日本の住宅事情
3講	4/22	・シロアリ講座・住まいのエネルギー・リフォームと収納・住まいの五重苦
4講	5/27	・木造工法の種類・住まいと色彩・日本の森林環境、針葉樹の特徴
5講	6/24	・外部実習「木エワークショップ」 子ども一緒にクラフト体験・広葉樹の魅力
6講	7/22	・欠陥住宅・ライフプラン・電磁波の正体・ユニバーサルデザイン・シックハウス
7講	8/26	・住まいの防犯対策・後悔した家を支援・ガラスの破壊実験
8講	9/23	・自然素材リフォーム・断熱講座・住まい訪問記・庭の魅力
9講	10/28	・ローン講座・「襖」と「障子」・木質エクステリア・ワークショップ「夢を描く」
10講	11/25	・いい家の条件・畳講座・省エネ講座・住み心地の正体、いい家塾の使命

### <講座詳細と申し込みに関して>

会 場:大阪市立 住まい情報センター 3階 ディリパ大阪 大阪市北区天神橋六丁目4-20  
 日 時:平成24年2月から11月までの毎月第4日曜日 11:30~17:00 (第1講のみ2月19日(日)開催)  
 受講料:10,500円 (全講分、資料代として。外部研修は別途実費が必要です)  
 定 員:30名(申し込み順、お早めに)  
 申込み:必要事項(氏名、住所、連絡先)を事務局までご連絡ください  
 受講料の振込確認が出来た時点で本受付となります。  
 振込先: ・郵便振替 加入者名<いい家塾> 口座番号 00980-2-22227  
 ・ゆうちょ銀行 ゼロキョウキョウ支店 当座 022227 イイエジユク



### 編集後記

文字を手書きする機会が激減した。「コピーの普及で学生の学力が極端に下がった」と、ある大学の先生に聞いたが何となく理解できる。人のノートを複写することで何となく勉強した気になるようだ。パソコンや携帯電話などには、あまりの便利さに頼りきっているが故障した時など日常生活にさえ支障をきたす。この何十年で加速度的に進歩した技術は、ある意味で退化を促進してきたのではないか。家造りの工程も機械化が進んでいる。ほんの100年程前の家造りは全部手作りだったんだと考えると普段の生活も少しアナログにシフトしてみようかな、などと思う。まずはできることから。【編集人】

NPO:後悔しない家造りネットワーク《いい家塾》

発行人:釜中 明 編集人:釜中 悠至

本部・事務局:大阪市天王寺区生玉寺町1-13-6F Tel:06(6773)3423 Fax:06(6773)3420

URL: <http://e-iejuku.jp> E-mail: [info@e-iejuku.jp](mailto:info@e-iejuku.jp)